

# 審議した主な議案

## 令和3年度一般会計予算

1月27日の本会議において予算特別委員会(沖浦あつし委員長)に付託し、2月19日、22日、24日、26日、3月1日、2日及び3日の計7回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、新型コロナウイルスワクチン接種のための接種券の作成・郵送、また、問合せを受け付けるためのコールセンター開設に要する費用を含む「新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費」(1億5千87万7千円)、二枚橋焼却場跡地に不燃・粗大ごみ積替え・保管施設を建設し、令和4年3月から本格稼働するための工事等に係る費用を含む「塵芥処理に要する経費」(21億千345万5千円)、小・中学校のトイレ環境の改善のため、便器の洋式化を行うためのトイレ改修工事の費用を含む「学校施設整備に要する経費」(1億2千869万4千円)などです。

3月3日の委員会では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月8日の本会議では、板倉議員ほか2名から、「新庁舎(仮称)新福祉会館建設実施設計委託料」の減額や「PCR検査委託料」の増額等の変更を求める組替え動議が提出されましたが、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由の第一は、新型コロナウイルスで市民生活が大変になる中、市民の暮らしの支援が不十分であること。第二に、ワクチン頼みではなく、PCR検査などの拡充が必要であること。第三に、市民犠牲の行革ではなく、市民生活を支援する必要があること。第四に、市民生活を支援する財源を約110億円の

### 賛成討論(要旨)

宮下 誠(公明党)

新型コロナウイルス感染症対策として、予算規模4億3千600万円、項目数では150以上にわたる関連経費が計上されている。中でも、総額で1億5千万円を超えるワクチン接種事業に関する経費は、市民の命を守る極めて重要な予算と言える。その他、小・中学校の洋式トイレを100基増やし、全中学校の体育館にエアコンを整備すること、義務教育就学児医療費助成について、小学校4年生から6年生についても保護者の所得制限を撤廃すること等を評価する。

### 賛成討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

当初予算ベース過去最高額の本案は、コロナ禍ですべきことを最優先に、市民の命と暮らしを守るための予算と言える。かかりつけ医や近くの診療所でのワクチン接種体制等、市民の不

安解消に努めていただきたい。また、新庁舎(仮称)新福祉会館は、いよいよ建設工事着手の年である。学校・図書館等の更新問題に差し掛かる場面で、なおさら新庁舎問題だけで立ち止まるべきではない。現行計画を着実かつ迅速に成し遂げることを求め、本予算に賛成する。

### 賛成討論(要旨)

白井 亨(こがおも)

課題だった学校トイレ洋便器率向上に加速度を上げて取り組む等、市民の生活を向上させる重要な予算であるため賛成する。ただし、①市たばこ税やふるさと納税等歳入確保に必死で取り組むこと、②第三小中学校の建替え等の設計が1年後に始まるにもかかわらず、公共施設マネジメントが機能不全なため、早期に体制を作り直すこと、③学校の光熱水費の予算編成が現場に厳しい状況を押していること等に改善を求める。市役所変革に取り組んでいただきたい。

### 賛成討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

コロナ禍における本予算は、市税収入が約5億7千400万円の減と見込まれる。暮らしを守る重要な予算が多く含まれるが、歳入増への不断の努力と、ポストコロナの緊張感を持った大胆な事業見直しが必要。冒険遊び場の人件費増は評価できる。不登校の子どもの居場所である実態を強く認識し、今後は人材育成のための経費も期待する。

### 賛成討論(要旨)

片山 薫(市民力エール)

予算には賛成するが、市民参加が不十分のまま、大量のパブリックコメントが実施されている状況は本来良くない。各計画の策定は、住民自治を育む重要な過程であり、全ての計画に今の子どもたちの考えが反映される方法にすべきである。また、新型コロナウイルスワクチンの日本でのアナフィラキシー反応が報告された。接種は強制ではなく、接種しないから、感染したからと差別を受けることなどが決してないように、慎重に対応すべきである。

加が不十分のまま、大量のパブリックコメントが実施されている状況は本来良くない。各計画の策定は、住民自治を育む重要な過程であり、全ての計画に今の子どもたちの考えが反映される方法にすべきである。また、新型コロナウイルスワクチンの日本でのアナフィラキシー反応が報告された。接種は強制ではなく、接種しないから、感染したからと差別を受けることなどが決してないように、慎重に対応すべきである。

### 賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

賛成する上でつけた点数は25点。評価する点は、多様な性の在り方の講座やパートナーシップ宣誓制度の利用者等も市営住宅等に入居申込みできる条例改正、障がい者差別解消条例の見直しの検討等。課題は、更なる気候危機対策、はけと野川を壊す都市計画道路の見直しが都市マスに明記されていないこと。学校給食調理業務の委託や玉川上水の桜優先の維持管理は、市民の声を聞き、市の責任の明確化を、また、困っている人に寄り添うコロナ対策を求める。

## スポーツ推進審議会条例

1月27日の本会議において厚生文教委員会(紀由紀子委員長)に付託し、2月16日の委員会で審査を行いました。

### 賛成討論(要旨)

岸田正義(みらい)

本条例は、スポーツ基本法に定められた基本的施策を実現し、法の基本理念の実現等を図り、より広く専門的な知見から協議を進めるため、スポーツ推進審議会を設置することを目的とするものです。3月5日の本会議では、渡辺

(大)議員ほか1名から、スポーツ行政全般について主体的に政策等を建議できる規定を所掌事項に追加することを求める修正案が提出されました。

### 賛成討論(要旨)

水谷たかこ(こがおも)

この予算は実施設計変更のためのものであり、新庁舎等の基本設計に着手してから生じた諸々の条件変更が原因で、必要不可欠であるため賛成する。しかし、防災マップ改訂の前提となる浸水予想区域変更について、東京都から市へ情報提供後、マップ完成時までの課題認識に至る姿勢や庁内での情報共有等、多くの課題があった。また、マップ改訂後、設計変更の方針決定までに時間を要した。これらが工期と予算に影響を与えたおそれがあり、猛省を求める。

## 令和3年度一般会計補正予算(第1回)

### 賛成討論(要旨)

渡辺大三(情報公開)

一連の経緯に鑑みて、まず必要なことは、かくもずさんな設計についての、市、設計業者、CM(コンストラクションマネジメント)業者等の責任を明らかにすることである。責任を明らかにしないまま公金を注ぎ込むことにはならない。また、本補正予算は新庁舎敷地の一部が豪雨の際に水没することが前提となつている。「敷地水没庁舎」をつくることは適切とは言えない。慎重な検討が必要である。

### 賛成討論(要旨)

斎藤康夫(市民会議)

本議案は新庁舎(仮称)新福祉会館を設計するに当たり、業務着手後に変更された浸水予想区域図に対応するための単純な設計変更の予算である。この議案に反対することは、予算が可決され、作業が終盤となつている原設計からの変更を否定し、現業務を継続させることであり、床上浸水する庁舎建設を容認することになる。なお、設計変更への市の意思決定が遅れたことは強く反省を求める。加えて、設計延長期間に耐震システムを統一することを強く要望する。

## リサイクル事業所の再開を求める陳情書

### 賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

本陳情書は、昨年8月末で閉鎖された常設のリサイクル事業

所を市民が利用しやすい場所に確保することなど、あらゆる方策を早急に講ずることを求めるものであり、全面的に賛同できる。市議会は、昨年の3月定例会で、リサイクル事業所の存続を求める陳情書を採択し、再開を求める決議を可決している。本陳情書は、これらを踏まえてリサイクル事業所の再開を求めるもので、市民の当然の要求である。常設のリサイクル事業所を早期に確立すべきである。

## 庁舎及び福祉会館の建設に関して、抜本的見直しを求める陳情書

### 賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

総事業費が110億円にも及ぶ新庁舎(仮称)新福祉会館建設について、この陳情に対しての署名は61筆、以前提出されたほぼ同内容の陳情と合わせると千65筆となること、パブリックコメントには、150人から約400件もの意見が寄せられ、コストダウン・広場の確保・地震構造を求める声が多くあつたこと、コロナ危機の中で、市財政は大変厳しく、その上、更なる市民生活支援が求められている状況であることから、設計の見直しが必要である。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

お詫びと訂正  
市議会だより第272号(2月19日発行)の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。  
2面「審議した主な議案」4段目【誤】：庁舎及び新福祉会館の建設に関して、抜本的見直しを求める陳情書  
【正】：庁舎及び福祉会館の建設に関して、抜本的見直しを求める陳情書